

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	工藤昭四郎
発言の会議	令和元年 11月28日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	<u>一 括</u> 、一問一答
答弁を求める者	市 長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 久里浜海岸の高潮対策について

- (1) ことしの台風 19 号では、久里浜海岸沿いの県道 211 号に海水と海岸からの砂が上がり、2017 年の台風 21 号では、沿岸の家屋は床上浸水するなど、高潮による大きな被害がもたらされた。市として高潮の対策をとる必要があると思うがいかがか。
- (2) 久里浜海岸には防潮堤があるが一部のみとなっており、今回の台風でも防潮堤のないところから海水と砂が上がった。防潮堤を延長し、海岸へのおり口として横引き型の陸閘ゲートを設置することで全体の景観を損なわずに対策が可能になると考えるがいかがか。

#### 2 南処理工場跡地利用について

- (1) 南処理工場の跡地利用について、地域から「このまま何もせずに何十年も放置されてしまうのではないか。」といった不安の声が上がっている。補助金見直しの要望等の経緯を含め地域の住民にしっかりと説明する姿勢が必要であると考えているが、いかがか。

- (2) 国からの補助金が使える場合と使えない場合でどのような違いが生じ、どのような影響を今後に与えるのか。
- (3) 地域住民を交えた南処理工場跡地利用検討委員会を設置し、地域の意見や要望に沿って跡地利用を進めてはどうか。

### 3 久里浜駅周辺の交通アクセスと渋滞緩和について

- (1) 久里浜駅前のまちづくりはスピード感を持って進めていくべきと考えるが、JR東日本、京浜急行電鉄、地元商店会、地域運営協議会、地権者との間で、現在どのようにして進められているのか。
- (2) イオン前の久里浜交差点も車両渋滞が常態化している中で、救急車両が渋滞で病院へ入れないなどということが起きないように、市としてどのような対策を考えているのか。
- (3) 救急車両や一般来院車両の進入路については地域の意見を取り入れながら進めることが大切であるが、地域運営協議会からは市との間で理解のずれが生じているとの意見を聞いている。もう少し丁寧に協議を進めるべきと思うがいかがか。

### 4 横須賀火力発電所新1・2号機建設計画について

- (1) 本市とJERAパワー横須賀合同会社の間では公害防止協定が締結されているが、現在どのような検査や指導が、どのくらいの周期で行われているのか。
- (2) 神奈川県知事へ出された意見書の中で、「現在の公害防止協定を見直し、環境影響の低減と環境保全の取り組み等を加えた環境保全協定として締結すること。」と市長は言われているが、協定の締結状況と内容はどのようなものか。
- (3) リアルタイムなデータ収集を事業者へ依頼するとともに、本市も監視システムを構築し、環境監視センターを置いてモニタリングや解析を行っていくことが、市民への安心につながると考えるがいかがか。

- (4) 煙突が東京湾入り口のシンボルとなるように、海からの眺めにも工夫したカラーリングや「ようこそよこすかへ」などの文字を入れる等の方策を提案してはどうか。
- (5) 本市は海に囲まれているものの、釣りができる施設が少なく、釣りができる場所を望む市民の声は数多い。横須賀火力発電所計画の中で予定されている公園などにおいて、管理釣り施設を設けていただくなど、にぎわいのあるまちづくりに資する方策を提案してはどうか。